

## 住民意見募集の結果

チラシ配布日 : 平成15年3月21日(金)(~~原~~切: 4月2日(水))

チラシ配布数 : 86,400部: 流域内の日刊紙販売店に新聞折り込み  
(上記に加え、委員より推薦があった団体及び個人に郵送)

意見回収数 : 31

(内訳 意見発表希望: 8 傍聴を希望: 10 参加・不参加が不明: 13)

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
1	波賀町・男性	(山崎)			<u>自然環境</u> ・森林と河川との関わり ・河川の植生	<p>私は波賀町原の住人で、ひょうご森のインストラクターをしています。森林は海の恋人といわれ、川はその仲人役として非常に重要な役割を果たしています。山川はふるさとの文化の象徴として人間生活と大きくかかわってきたし、今後ますます河川空間の役割は重要である。現在私の活動は20世紀の大量消費生活の代償と自然環境無視の河川改修により失われた生物生息環境改善のため、ホタルの人口飼育、幼虫放流5年と川二ナ飼育放流7年を続け人と自然の協調によりすばらしい回復を確信している。又、河川改修により失われたネコヤナギの移植を進めているが、最近付近で河川整備という目的で集落のシンボルであったソメイヨシノの古木やオニグルミ、ネコヤナギ、ヨシの群生が破壊され寡占空間に植物が一つもない広い川が造られている。集落を失い町を分断した引原ダムの役割は何であったか。河川改修は必要である。それは上流、下流に見られる魚つき林的な河川空間重視のふるさとの歴史を前進させるものであってほしい。発表に際しては写真資料等を提示します。</p>
2	一宮町・男性				<u>治水</u> ・ダム問題 <u>上下流連携</u> ・互いが成り立つ整備	<p>ダムは絶対に反対である。            治水と自然について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上流域の事と思われる(かえりみられる)のが、下流の洪水時のみという事は奇異である。</li> <li>・ダムで上流の生活を破壊すれば下流が助かるという方法ではいけない。</li> <li>・堤防以外に新しく分流・支流をつくるとか、用地に問題があれば、地下水路にする事も考えるべき。</li> <li>・多数が少数を「水没」させれば可ではいけない。私達は上流の河川清掃に努め、母なる自然を育み、森林よりの酸素供給や、貴重な飲み水を「生産」し、下流域人口へ無償で供していると自負している。恩をきせはしないが、お互いが「成り立つ」方法ではないといけない。</li> <li>・すでに脱ダムの時代である。安易な考えはダメ。海の資源は山で育まれるという大自然の営みを軽んずれば、上流も下流も滅びるのである。</li> <li>・千年水へ、かくも多くの人が、水を汲みに来るのは何故なのか。それをダムで水没せよとは。</li> </ul>
3	山崎町・男性	(山崎)			<u>自然環境</u> ・河畔林を守る <u>河川利用</u> ・十二波の利用	<p>(1)第9回河川整備基金助成事業成果発表で北海道大学農学部の村上先生は『河畔林で生活する魚の35%が森林からの流入する餌生物に依存し、森林からの供給を遮断すれば、生息する魚の個体数が35%減少した。』と発表された。山崎町の揖保川ぞいには大きな木がまだ残っています。この木々を守ることは出来ないのでしょうか。</p> <p>(2)山崎町十二波は、むかしから子供達の水泳場です。今でも多くの子供達が楽しんでいます。江戸時代に作られた浜御殿あとの石づみや、サクラの木々、竹ヤブ、柳の木など守ることが出来るのでしょうか。</p> <p>(3)河にすむ虫や魚にやさしい川づくりをお願いします。</p>
4	山崎町・男性				<u>河川管理</u> ・河川内の草刈り	<p>揖保川の中州に灌木が生え、すすき(よし)が茂っている所が河東小学校西の所から北へ野田橋まであります。一年に一回刈り取って美しい河原がほしい、立て看板には美しい川との標語があのですが、河原に人が死んでいたが(長い間)わからないことがありましたね。一昨年のことでしたかと思いません。</p>
5	新宮町・男性	(会場の希望なし)			<u>河川利用</u> ・釣りへの利用 <u>自然環境</u> ・魚・鳥の生息	<p>揖保川の自然環境について</p> <p>引原ダムに従って、その水を流している揖保川は皆にとっても愛されている。五月中旬からあゆを取ってもいい許可があり、あゆ釣りの客がたくさんくる。この揖保川は昔は毛針でハヤを釣る客も多かったが今はハヤが少ないが新しくあまごが育っている。そして少しずつ魚のメンバーが変わってきた感じだ。水鳥がたくさん揖保川に住む魚目当てにやって来る。その仲間にはがん、かも、かいつぶり、ちどりまでやって来る。とにかくにぎやかになった。そして吉島を通る流れにはうろこに一本の濃いあい色の線のあるきもつという種類がハヤに代わって毛針に飛びかかって釣れる。だから楽しさは変わらないが魚種が変化していることは、何でだか分からない。昔のように、ハイジャコといっていたハヤが釣れるといいなと思う。さぎ類には白さぎにもっと大きなゴイサギがやって来る。皆さかな目当てです。とにかく揖保川の自然環境にいろいろな鳥類が参加するようになり、東京を流れる川や木曾川の大きな川に準ずるくら発展してきている。また、カモメを時々見る。魚のたくさんいる川は昔より魚がたくさん住んでいるのだ。だから少しずつ流れも大きく筋が一本に変わったことは、治水斑の苦労だと思う。</p>

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
6	龍野市・男性	(龍野)			<u>水量</u> ・舟運があったころの水量 <u>河川利用</u> ・河川敷は川らしい公園に	<p>1. 水量について むかしは、上流の材木をいかだで流したり、高瀬舟で物資を下流の網干まで運んでいました。今の揖保川ではそんなことは不可能です。なぜでしょうか。山の保水力がなくなったからでしょうか。又、復活することはむりなのでしょうか。</p> <p>2. 河川内の利用について 最近川の中にグラウンドや公園をたくさん作っています。あまりにもきれいで川に合っていません。又、平日は利用者もあまり見かけません。もったいないです。作るならもっと川らしい公園にしてください。</p>
7	龍野市・男性	(龍野)			<u>治水</u> ・引堤の代替案 ・掘邸の問題 ・河川敷の施設と治水対策	<p>「市街地における引堤事業」が2面に図とともに掲載されていますが、任意に作成したものでありとは書いてありますが、代替案が示されていないのが残念に思います。広報される場合は少なくとも3つ4つの案が示されてしかるべきと思いますが、いかがでしょうか。住んでいる人、事業を行っている会社にとっては不安を与えるだけになってしまわないでしょうか。それに龍野にとっては宝物とも言うべき掘邸があります。それが失われるとするならば非常に残念です。</p> <p>1面の揖保川の今と昔の姿を見ますと、以前は水の逃げ場だったのかなと思われるところに市の建物などがあり、その上、河川と親しんだり、河川の有効利用といったことでしょうか、血管に脂肪が付着したように、グラウンドや河川敷があちこちにできているのがわかります。現在も河川敷の整備が進んでいるように聞いておりますが、一体何を優先させて河川の整備をしていくべきなのかを早急にとりまとめなければならないと思います。安全第一というのであれば、グラウンドや公園などの撤廃も視野に入れたいといけいのではないかと思います。</p>
8	龍野市・男性				<u>治水</u> ・内水対策	<p>揖保川の洪水対策について提言</p> <p>川床に雑木が密生しその直径は20cm位、高さは4～5m位に伸びております。川本来の姿として、この雑木を切る必要があると思いますが、萩原門付近から下流を見ると林の様に見えます。揖保川と林田川の合流点、北はJR山陽線、逆三角形の地形をした地域に真砂、萩原、東用部落がありますが、私は東用の住民です。私達が子供の頃から台風時の豪雨により当地域は何度となく浸水で苦い経験をしてきました。大きく言えば龍野市(川東)の雨水を全部受けているように思われます。ご承知のとおり堤防長さ約1,500mの間に4ヶ所の排水扉門があります。これだけ排水扉門があるところは稀じゃないかと思えます。それだけ内水が多いということです。此の度この3地区ではほ場整備が実施され併せて真砂地区に内水排水機場が新設され14年5月に完成しております。まだその稼動状況は見ておりませんが、要は台風時の集中豪雨により本流が増水した時、幾らかでも長い時間扉門を閉めずに内水排除をはかることだと思います。</p> <p>質問ですが パンフレットの治水について市街地における引堤事業の説明で「現在の計画では上流に新たにダムを作り洪水時の水を防ぐとなっておりますが」この場合、上流の引原ダムの洪水調節をやるのですか。或いはやらなくて別に計画のことでしょうかお尋ねいたします。</p>
9	龍野市・男性				<u>河川管理</u> ・ごみの問題	<p>子供のころから父に連れられて、魚捕りをしたり、泳いだり、釣りをしたりと、年中揖保川で遊んできました。自分がまだ小さかったせいもあるでしょうが、川の流れが大きく見えたものです。</p> <p>約20年ぶりに自分の家族を連れて龍野に戻ってきましたが、そこを流れる川や町の変わりようには失望しました。河川敷は整備されて誰でも気楽に立ち入ることができるようになり、人の出入りが多い分ゴミや犬の糞も増え、それこそ景観を損ねてしまっています。また夏場などは県外からの鮎釣り客が最近増えており、私がそうであったからかもしれませんが、網を入れて子供に鮎捕りをさせてやろうにも何かと気が引けます。川岸が整備されずに、ごろた石と藪で覆われていた昔が懐かしいものです。</p> <p>大学が水産系であった分、水質や生態系などにも興味がありますが、ぜひこの機会に改めてこれからの揖保川の流れを見つめなおしたいと思います。</p>
10	龍野市・男性				<p>—</p> <p>百年に一回の洪水とか技術的なことはわかりませんが、流域の文化や自然を考慮に入れた上での計画にしていきたい。他の地域の河口堰のように、何が正しいのかわからない物もあり、百年に一回の根拠をどの様な外部団体が計算したものなのか、説明してほしい。失礼な話ですが、国の試算は余り信用する気になれません。</p> <p>どうせお金を使うのであれば、川上の保水率を高めることに、もっと力を注いで頂きたい。</p>	

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
11	龍野市・男性				<p><u>河川利用</u> ・子どもの親水場の <u>治水</u> ・引堤事業 <u>水量</u> ・山林の荒廃まで考 慮した対策 <u>住民参加</u> ・既存組織(自治 会、婦人会、老人会 等)への広報</p>	<p>揖保川流域委員会が設置され、公開方式の会合を開催されていることは承知していましたが、私の日程が合わず、一度も傍聴しておりません。私は多少川について関心がありますが、地域住民の多くは河川整備のことは、道路整備にすること程関心はなく、当委員会の事も承知していません。西播磨県民局環境課とか各市町教育委員会へも働きかけPRすべきと思います。また、河川公園利用したり、河川清掃・エコクラブ等河川とかかわる団体へのPRも。</p> <p>昭和40年代の初め頃の農薬散布が始まった時点から子どもが川で遊ぶことを禁じ、水辺から遠ざけてしまいました。しかし、都市再生事業や街づくり計画には親水河川とか、水遊びの場所が大切です。水環境整備は火災の場合の用水ともなります。でも、揖保川の現状は親水河川部分が少ない。新宮町が実施している川まつりのイカダ流しくらいしか知りません。(夢前川まつりはすごい人出です。)</p> <p>龍野市と国交省が進めている「水辺プラザ事業」は素晴らしい企画だと思います。これが完成すれば幼児でも水に親しめるものと期待しています。</p> <p>昭和30年代は、龍野市大道付近に霞堤が残っていたり、同島田地域の田圃は遊水池であったりして洪水時の水位上昇を押さええていました。堤防工事が進み、その結果河口から13km地点の狭窄部が文字通りネックです。引堤幅幅となると、それこそ住民参加、地権者との話し合いが必要でしょう。大問題となり、時間も相当かかるでしょう。</p> <p>公共下水道工事が進捗し、汚水が網干の処理場へ。そのため揖保川の水量が減少したのか、雨水が少なくなったのか、この所揖保川の流量が減ったように思う。休耕田もあり農業用水は減っただろうが、水道水の取水量の増加の事、内水面漁業のことを考えると水源となる山の荒廃が気がかり。国土交通省管轄の1級河川以外のことでしょうが、そこまで考えてほしい。</p> <p>流域の声を聞く場合、市町村経由で自治会、婦人会、老人会、子ども会、農会、漁協、消防団、といった組織を活用されるのも一方法かと思います。(もう、やっておられるのかも、でも老人会へは聞こえてきません。今回は初めてでした。)</p> <p>ホームページへのアクセスも少ないとか、既存の団体の長にアタックも有効かと思います。</p>
12	龍野市・男性				<p><u>水質</u> ・林田川の水質改善 <u>治水</u> ・真砂地区の洪水対 策</p>	<p>揖保川林田川合流点(真砂)に在住しておりますが、指摘の通り近年両川共水質が良くなった。林田川は未だ汚水が流れている。子供の時は水泳も出来、ウナギ、ナマズ、カニ等が住みつき清流であったが、当時は大雨の時は池になり床上まで汚流が逆流し被害が発生していた。河川工事で完全ではないが水の被害は減少している。反面汚水で被害が発生し、稲、野菜、麦等の作物に甚大な公害が毎年発生していた。その水質には化学薬品も混入していたのではと考えます。その作物を食べる現在当地区の高齢者には体内に蓄積された薬害のためではないか、60~70才前後にガン、脳関係で亡くなる人が他地区と比較して多いように思う。両河川の改修水質に努力頂いている事は大変なことですが何卒宜しくお願い申し上げます。この改修に関し個人的な意見ですが龍野、網干付近は進んでいます。中間の当地区が遅れており、洪水・景観とも問題がある。河川の中州には雑木が多く生え、大雨時には洪水がまた発生する危険があるのでは。そのため排水ポンプも設置されているが余り期待出来ない。上流・下流の改修が進み中間はどうなるのか。先が不透明であり、この付近の早急な計画を進めて頂くよう議題にして頂き具体的に明確な計画を示していただきたい。農地改修時に県道用地も確保されておりますが今から15年ぐらい先であるとの話もあり、当地域が何もかも遅れているのではないだろうか。</p>
13	龍野市・女性				<p><u>治水</u> ・引堤について <u>水質・水量</u> ・家庭での対策 <u>自然環境</u> ・自然を大切にす る <u>取り組み</u></p>	<p>1. 治水について 河口から13kmの地点付近の中州を取りのぞく。理由は用地買収より簡単。上流から石等が流れて来て、そこに植物が育ったのですからある期間毎に取りのぞいて水の流れをよくする。 建物を増やさず田畑を守り減少させない。できるだけ。</p> <p>2. 水質水量について まだまだ家庭や個人で出来る水質改善はあると思う。洗剤</p> <p>3. 自然環境について 空と山、田畑と川、自然を大切にしたい。団体で個人で年に1~2回は足を運ぶ。今まで以上にその場所へ行く。自分で出来ることをする。クリーン作戦、植物採集、楽しいこと、出かけることで見えてくる。</p>

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
14	揖保川町・女性				<u>自然環境</u> ・自然を活かした整備	<p>揖保川は私の住んでいる所のすぐ側を流れています。毎日目にしている川です。私が嫁いできてからもその様相は大きく変化しました。どんどん「きれい」になっています。しかし「整備＝きれい」でいいのかどうか少し疑問に思っている所です。「水を制するものは国を制す」ですが、河川のバランスをコントロールすることが大切とは思いますが、龍野大橋あたりの自然に木が生え、水が流れている風景はとて素晴らしいものです。特に今頃(3月下旬)の芽出し頃は美しいです。そのような自然(あるがままのようにみえる自然)を生かした整備であればと願っています。</p>
15	揖保川町・女性				<u>河川利用</u> ・「水辺プラザ」の整備	<p>揖保川水辺プラザ整備地区について、地元の一般市民にはどのように整備されるのか聞かされていませんが、現在残っている河川敷内の雑木林はぜひ残して頂きたいと思っています。理由は</p> <p>対岸の揖保川町側から又、正條橋から見た景観が、林があることにより、大変美しい(私は趣味の絵のモチーフにここ数年使っています)。</p> <p>里山の少ないこの地域には里山のかわりとなり、キジが林や中州から飛び立つのを度々見かけます。</p> <p>すでに整備された揖保川町側の運動公園など日陰も全くなくて、小さい子供連れで遊びに行っても休む場所もありません。林があれば日陰も出来、風も涼しい(冬は寒風よけにも)。</p> <p>菜の花が美しいし、つる性の植物で「かご」を作ったり、つくしやよもぎ摘みが出来る。</p> <p>整備される場所について、計画されているかも知れませんが、子供達が素足で入って遊び、魚や水生昆虫などが捕まえられたり観察できる場所を作ってほしい。</p> <p>計画はあまり利用されない年配方の意見より、これから利用する若い人や子供達の意見をもっと取り入れたものにしてほしい。</p>
16	太子町・男性	(龍野)			<u>昔の揖保川を取り戻す</u> <u>水質</u> ・汚染源の対策 <u>利水・水量</u> ・利水と水量対策の両立 <u>住民参加</u> ・住民の考えを聞き出す	<p>私の意見の基本的考え「川は所与の地球表面にあって数多くのファクター役割(機能)を果たさねばならない生きた環境の一過程で人のエゴによる優占利用は有機的な関連ファクターの許容範囲内においてのみ可能とする。即ち、人との有機的限界利用を超えてはならない。短期的近視眼的有効利用はいくら緻密な対応計画に依るとも後世の課責を増長するものである。裏を返せば人との有機的な限界調和を常に念頭に置き謙虚に考えていかねばならない。</p> <p>私の川・河概念には時空毎の無数の感覚が甦って来ます。そこには豊かな情操の絆があり、そこには自然の部分が多分あったからでしょう。将に生きた状態でした。今の子供達にそれを感じさせる事は、いや今からしなければ、いつやれるか、誰が。流域委員会の実効ある成果を是非期待するものです。</p> <p>例えば山は池、川は動脈(血管)、海は心臓、太陽は搏動源のようなもので水に伴う一連の循環が自然として譲り合った環境を形成し、多くの生命を育てている。人間もこれに参加しているに過ぎない。</p> <p>そこで私の提案</p> <p>中国山地から瀬戸内まで今の揖保川が昔の揖保川から失ったものを徹底調査し、それらを取り戻すに可能なものから実行に移すこと。この事に関しては縦割り行政の枠を排除すること。</p> <p>農薬、洗剤、工場排水を経済優先から環境優先に転換し、その為流域市町村に禁止と補助の条例を制定すること。県国にも働きかけること。</p> <p>治山、治水、用水中心の現揖保川を利用しつつ、並行する“揖保川自然流水”を噛み合わせてつくること。</p> <p>林業・農業・漁業、歌人、写真家、文筆家、画家、詩人、教育家、宗教者……の意見を大切に。とりわけ土に触れて暮らす人々の考えを聞き出すこと。言わないから。</p> <p>タバコ、ビニール類についても考えを。</p>

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
17	太子町・男性	(山崎)			河川利用 ・子どもの教育の場	<p>先日の第3回地域社会分科会に出席させていただきました。そのなかで「揖保川を題材に子どもたちの教育の場にしよう」という提言案がありました。学校教育の総合学習の場に取り込んで、小、中、高とそれぞれで教育しようということでした。私も基本的には賛成です。揖保川というすばらしい川に触れて、子どもたちに歴史や文化を知ってもらい、また自然、環境ということを学んでもらいたいと思っています。</p> <p>しかし、ここで気を付けなければなりません。それは大人の押し付けがましい教育にならないようにということです。分科会でもありましたが自主性、自発性が大事です。子どもたち自身が発見することが大事です。大人たちは子どもたちに川と水に親しめる場だけを作ってあげればいいのか。最初だけ川との付き合い方を誘導してあげればいいのか。押し付け教育は、ほんとの意味で子どもたちの中に残らず、ためにならないと思うのです。</p> <p>原風景という言葉があります。私は揖保川が子どもたちの原風景であってほしいと思います。東工大の桑子教授は、「原風景」はあくまで自己の風景である。他者がわたしの原風景を設定し、また、原体験を操作したり、支配したりすることはできないといっています。子どもたちが自ら揖保川でおもいっきり遊んだ体験が、原風景になっていくのだと思います。</p> <p>さて、実際川と水に親しむことのできる、ハード的な場である河川敷についてみてみましょう。揖保川の個性という言葉も出てきました。揖保川は大都会を流れる川ではありません。もっともっとありのままの自然景観でいいのではないのでしょうか。川をデザインすることはその街の風景をデザインすることです。畳堤がいい例です。人工的にきれいに整備された河川敷、すなわち公園やスポーツランドなどいらないのではないのでしょうか。最低限の安全性を確保すれば自然のままでもいいのではないのでしょうか。そこで子どもたちは自由に遊び、危険をも学び、水に触れ、風を感じ、花や草木を愛で、いろんな生き物を発見します。子どもたち自らが得るものは多く、そして得たものは大きいと思うのです。</p>
18	太子町・男性				水質 ・河川水、地下水の水質	<p>1. 林田川の水質 林田川の水質改善は「清流ルネッサンス21」の取り組みだけでなく、皮革産業の不景気によるものが大であると思われるが。</p> <p>2. 地下水の汚濁状況 林田川の表流水だけでなく、地下水、土壌の汚れ等の報告が出来ないか、数10年前に河川敷地にシェビング(皮革のグズ)を埋めた経緯あり、地下水の汚濁が心配。</p>
19	太子町・男性				自然環境 ・河口干潟・中州・瀬淵の環境の復元	<p>大変関心を持っていつも一読しております。専門的な知識には乏しいものの自然をよみがえらせる点には賛成です。しかし、戦後の大改修で今の安全を無視してはいけません。科学的、合理的に工法を加えた結果現在があるのです。しかしその結果として自然を破壊し昔の環境がなくなりました。それは誰もが判らなかつた失敗です。その失敗を基に次の世代にその両面を充実させた河川の整備をするのが我々の残された責任と考えます。私は63才。昔を知る残された年代でもあるのです(最後の)。ヨシの原、河口の干潟、中州の存在、生物のいる環境作り、又瀬と淵の復元など人間をはじめ生き物にとって大切さの解る人間味のある環境を是非造りたく思います。送付された資料を観るにつれ一層の対策対応を感じます。</p> <p>常に水の流れる昔を次世代(孫達か)に取り戻したい。その為には多少の移設・移動もやむを得ないと思います。一時の目先にとらわれず環境のメリットは半永久性であるという考えをもって進めて欲しい。夢のある事業です。</p>
20	太子町・女性				治水・環境・河川利用・景観 ・菜の花の咲く河川	<p>以前から土手にこの時期に出来る菜の花のつぼみを摘み取り、この時期を毎年楽しみにして菜の花を冷凍して保存する程においしく食べております。だんだん整備されていくのを見ていて菜の花が減る事に毎年ながらショックを受けていました。この菜の花をとっていたのは、林田川の網干～太子間ですが、この間龍野大橋の所でいっぱい咲いていたので来年はここで取りたいと思いました。この自然で栄養価が高く毎年の楽しみをどうぞ保存して頂きたいと思います。網干～太子間の整備されていく状態を見ていつも工事を止めてほしいと思っていました。このような場を作ってくださいありがとうございます。</p>

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
21	網干区・男性	(網干)			<p><u>河川利用</u> ・河川敷の利用</p> <p><u>水質</u> ・流域下水道処理水の 水質</p> <p><u>水利用</u> ・工業用水水利権の 見直し</p> <p><u>水量</u> ・水位低下による地 下水の塩分</p>	<p>古代の四大文明がすべて大河の流域で生まれ、人類社会の経済文化の発展にとって河川の役割はきわめて大きかったと言えます。しかし、今、私たちの生活にとって川との関わりが希薄になっています。</p> <p>私たち「あすこん」で、昨年網干・余部地区のまちづくりアンケートを実施しました。揖保川について多くの方が一時期より水がきれいになり、魚も戻ってきてるが、昔のように川で泳ぎ、川辺で遊ぶことのなくなった現状を憂いておられます。一方、河川敷の利用については、公園、グラウンド、遊歩道、サイクルロード、駐車場、ピオトープ等、様々な意見が寄せられています。まちに少なくなった敷地・空間を河川敷に求めている訳で、川と人との疎遠な関係を痛感しました。</p> <p>私はまちづくりにあたっては、水に親しみ、自然と触れ合える関係を取り戻したいと考えています。揖保川の水質は皮革廃水前処理場の排水や家庭排水を流域下水道に流したため改善されました。しかし、終末処理場で十分に処理しきれない排水が放流されるため、稚えび、稚貝を放流しても育たないと言われていました。</p> <p>個別処理場で処理し、川に戻せば川の浄化作用でN(窒素)やP(リン)は除去され水質の改善がなされ、水量の減少を抑えられます。工業用水の水利権も見直し、河川水量の確保も必要です。河口や中州の畑の井戸から塩分が出だした件は水位の低下と揖保川の工事方法にも再検討の必要性を感じます。洪水対策だけでなく、自然を活かした整備計画にしていきたい。</p>
22	網干区・男性				<p><u>水質</u> ・河口部のヘドロ除 去</p>	<p>昭和35年頃から始まった、林田川下流域の皮革工場の排水に依る揖保川の河川汚濁は、その後永年と亘る官民各位一体による汚濁防止対策就中揖保川流域下水道事業の進捗に伴う、上記皮革排水の下水道への接続に依り日を追いつつ改善され、揖保川に天然鮎の遡上する昔の清流に戻りつつあるのは或いは喜ばしい限りであります。</p> <p>しかしながら、今なお揖保川河口域に堆積する大量のヘドロにより、魚介類の養殖は勿論のこと、渚からの立入も禁止されており、昔年の様に家中で汐干狩りを楽しんだり、海水浴を共にする等のすべは今のところ考えられません。従って何とか関係ご当局のご尽力により上記ヘドロの除去により一日も早く昔の網干沖に復帰するよう網干の住民として念願して止まない次第であります。</p>
23	広畑区・男性				<p><u>自然環境</u> ・中州等の生物の生 息環境</p>	<p>中州もそうですが、河川敷にある草原やブッシュは野鳥や野生動物が生息する上で、たとえば休息、採餌、ねぐら、繁殖等のための重要な場所です。よって、そのような場所を広い範囲で手を付けずに残していただきたい。</p>
24	網干区・男性				<p><u>自然環境</u> ・ヨシの保存</p> <p><u>河川利用</u> ・利用方法を柔軟に</p> <p><u>水量</u> ・川の流れる望める 水量に</p>	<p>・揖保川の美しさを保つため、ヨシを保存してほしい。</p> <p>・川岸は投石など小魚が住みやすく、また誤って子どもが川へはまったときは這い上がれるようにしてほしい。</p> <p>・堤防の幅にもよるが、できれば木を植えてほしい。</p> <p>・河川敷の利用方法をもう少し柔軟に対応できないか、考えてほしい。</p> <p>・ダム的重要性も分るが、川の流れる望める流量計算を考えてほしい。ある程度流れがないと水が美しくならないと思う。</p>
25	網干区・男性				<p><u>水質</u> ・中川左岸廃棄物 問題</p>	<p>中川橋下流東岸の汚染問題はどうなっていますか。某新聞が年1回ほど記事にしますが、具体的な数値は出てきません。年何回何ヶ所で試料を採取し、その分析値はいくらなのか公表して下さい。下流の木材港でよく釣りをしますが、大丈夫でしょうか。</p>

No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
26	網干区・男性				<p><u>水質</u> ・家庭排水、工業排水、農畜産排水</p> <p><u>自然環境</u> ・魚類、水生生物、昆虫</p>	<p>河川の殺菌浄化水を利用する市民 井戸水利用不可の今日、市民大多数の家庭は市の上下水道に頼る他、方法なし。</p> <p>イ. 水道水本当に安全か。 ロ. 各家庭浄化器具の取り付け増える。 ハ. 水道生水長期間使用は健康に良いか悪いか。 ニ. 幼児、小中学校各家庭での利用方法(上下水道)は。 ホ. 上下水道使用価格は適正か。:市民の疑問</p> <p>・農業用水特に米作りは河川利用 ・梅雨時:少雨期河川低水量の為農水路利用不可 ・農用地下水ポンプ使用も塩水、長時間使用不可</p> <p>天候任せの米作りに苦勞す。(一日2時間程度使用:可能) 地下塩水原因論議(地域農区員対策検討要) 揖保川上流・中流・下流・各地域鉱工業の排水、農畜産の排水、都市土木家庭排水等汚染物質の垂れ流しに、皆さんでストップをかけよう。</p> <p>河川敷有効利用</p> <p>花木の植樹か他・ホタルの育つ小川・自然界の自浄作用 後生動物水の濾過 淡水海綿や貝類・カラス貝 シジミ貝 類他・(森下隋子著より) 美しい河川と美しい山林</p> <p>昭和35年頃中川(揖保川の支流)にナゲとって一番ナゲ、二番、三番、四番ナゲと、石組の美しい景観であり大小多種類の魚、シジミ他が住み泳いでいた。又、川岸近い浅瀬では真水が沸き水泳の出来る浅瀬であった。 川や海は子供達・やすらぎの場所であり感性を養う場所でもあります。 水質が変われば住む魚も変わる 今では幻の魚になっている。</p>
27	無記名	-	-	-	<p>揖保川をよくする為には、そこへ流れるそれぞれの川がどんな状態かを知るのもひとつじゃないですか。そのひとつ馬路川のすぐ近くで住んでいる私 その河がゴミの山 何者かが捨てる。他地域の者では、カラスがその袋を開け散らかす。散らかりほうだい。 河へ流れ込むところでシャットアウト出来るくいも必要。 時々、多量の油が流れ込んでくる。 こんな河から美しい川が生まれないのでないでしょうか。 黍田から山津屋。見に来てみれば一目瞭然です。</p>	
28	無記名	-	-	-	<p>河川整備の最大の目的は洪水の時にも耐える強度を持つ堤防を作ることですが、コンクリートのかたまりや石垣を作るのではなく、上流から下流まで堤防兼4車線の道路を作り、南北の基幹となる道(堤防)を作る。今のままの堤防で河川内をいかに整備をしても税金をドブに捨てるようなもので、全ての始まりは堤防兼15m幅位の道路を河川の両側に作り産業の一大活性化(公共事業)をはかる、これが実現すれば、東西は中国道、山陽自動車道、2号線と南北の道が繋がると共に殆ど信号が必要ない為、車の排ガス対策にも大いに役立ち日本の裏と表が1時間もあれば行く事が可能になり。河川工事と道路工事、排ガスの問題等公共工事の本当の役割が果たせる。内水排除対策はこの工事と平行して実施すれば良い。これは後世に残る最もよい公共事業の一つとなるでしょう。</p>	



No.	住所・性別	発表の意向			意見の主旨 (キーワード)	意見(記載内容全文)
		意見発表	傍聴のみ	不明		
29	無記名	-	-	-		<p>揖保川はすでに環境が損なわれていて、山からの栄養分、水量が減り、さらにダムのプランクトンの影響で青い苔で石が覆われている。コンクリートや工事後の土砂で川原が埋めつくされ、伏流水の行き場がなくなっているのに加え、流域下水道の影響で上流で水を取られ、家庭廃水すら川にそそがなくて、魚の餌が不足したり、水量が減った分工場廃水の濃度が上がり、魚や植物によくない状況になった。以前は石の川原や川砂が多かった湧き水が泥やコンクリート、草で覆われてしまい、川岸から水辺への安全な憩いの場がなくなっている。テトラポットや柳、鉄筋の入ったコンクリート辺、コンクリートや切り石の陸からいきなり深くなっている川、すべりやすいコンクリートの川底、かなあみの川底、すべて税金でつくられた。川の汚物が安全で清らかな河川を奪ってしまった。これらすべて国土交通省がらみです。川原に山土を運び川幅を損ない、拳句の果てに立ち入れないようにカギをかけてしまう。人がなくなった川は草が生え、木が生い茂り、近寄ることもできないくらいのジャングルになって、川の中は藻だらけで、水は腐ってしまっている。川原に誰も入れなくて「川はみんなのものです」とはなんとしらじらしいことか。ついでに言うならたまにサラ金の看板を撤去する川原に捨てる。このごろはそれもしなくなって看板の上だけ金具を切って裏返し、風で飛んでいくのを待っている。全くとんでもない悲しい人達だ。</p>
30	無記名	-	-	-	—	<p>美しく安全を旗にせせらぎだより見させて頂いております。揖保川のほとりで育てられ、いろいろの話を語り継ぐ住民です。希望はありますが、大きな問題なので100年に一度の水害についての考えは持っておりません。奥の深い揖保川のことで私達近隣の住民は今までの経過を見て暮らし何代か前よりのこともあり又、現在はテクノポリスとの関係もないとは言えません。今日に至るまで危険も見て来ましたが、一応安定しています。農業用水とは別に考えたい。堤防と橋をすればよい。おいしい水を安全に川を汚す企業の監督の配慮に力を入れてほしい(できていないところ)。大気汚染とも言えようが、ゴミ拾いより、草木雑草これについてはよく役所に申し上げますが川は建設省の管轄なのでさわられないと答えられたことがある。大洪水で柳が倒れても何年経ってもそのまま大量ゴミや犬や猫が捨てられる。又、ヒガシマルの西側は5、6年前から雑草が生い茂り枯野になっている今も何がいるか知れなく近寄れない。100年の計は専門家に依頼し今の川を大事にしてほしい。予算は毎年計上されるだろうに、どうして後回しになるのだろうか。龍野橋の南側がよくなってとてもうれしい。企業奉仕、自治会でもよい枯野原野焼して老人や子供の憩いの場にしてほしい。近隣に住む人の願いである。岩浦の支流についても無理にイベントに子供参加など考えられない。危険一杯近くのもの知っています。行動は安全で美しい所に人々は寄っていきます。有料でいいから駐車場がほしい。釣り人のマナー指導して。もっと広いところでして下さい。聞いて下さってありがとう。未来にのびる地域のために近所で話し合いました。意見だけですが書かしてもらいました。</p>
31	新宮町・男性	-	-	-		(意見不明瞭)